

「新沢千塚古墳群をめぐる」

《コース》 檀原神宮前駅¹ (トイレは改札内) 10:20発～久米寺²～益田池堤跡～宣化天皇陵
～倭彦命墓～新沢千塚古墳群公園³ (昼食、公園内巡り)～檀原神宮西口駅

担当：16期 佐々木様、19期 山下様、28期 稲見様



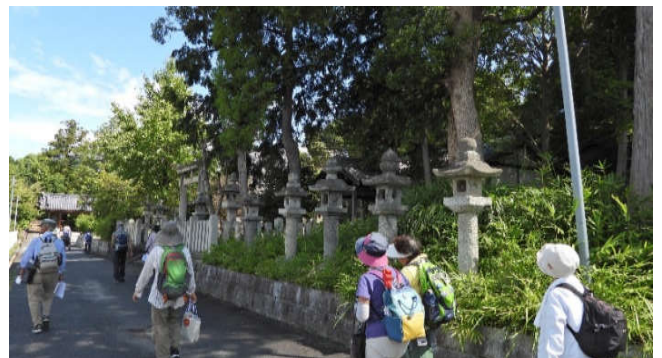
檀原神宮前駅西口 点呼 コース説明



出発前のストレッチ



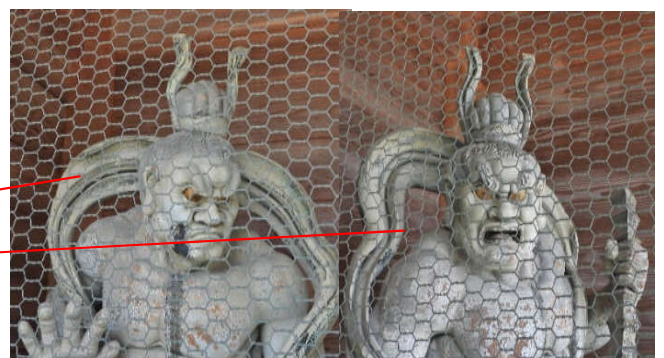
久米寺へ出発



右側 久米御縣神社 (クメノミアガタジンジャ)



久米寺 (西国薬師第七番霊場)



仁王さん

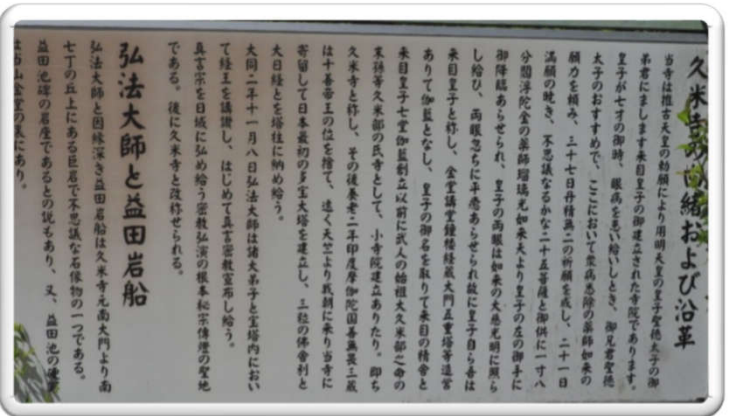


本堂と久米仙人

久米寺の久米仙人は、古代の伝説上の人物で吉野の龍門寺で修行し神通力を得て空を飛べるようになったとされますが、洗濯をする女性の白いふくらはぎに目を奪われ法力を失い墜落した話で有名です



大塔礎石



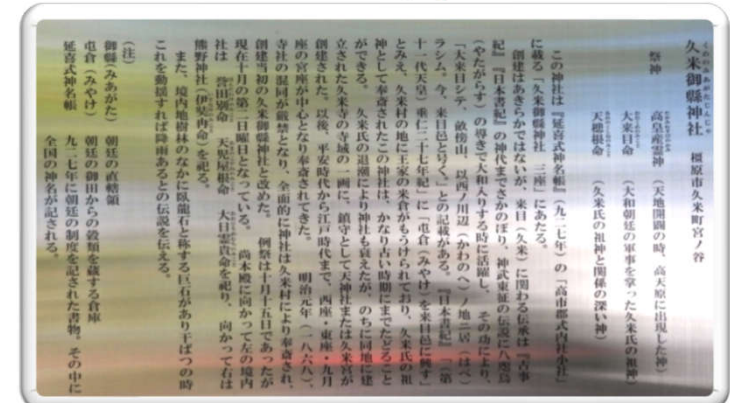
久米寺



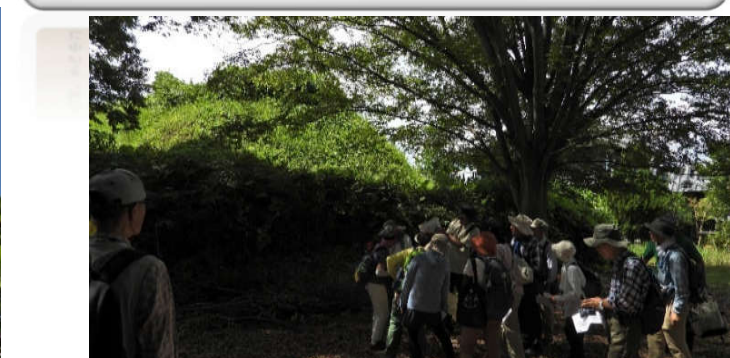
久米寺



久米御縣神社 (クメノミアガタジンジャ)



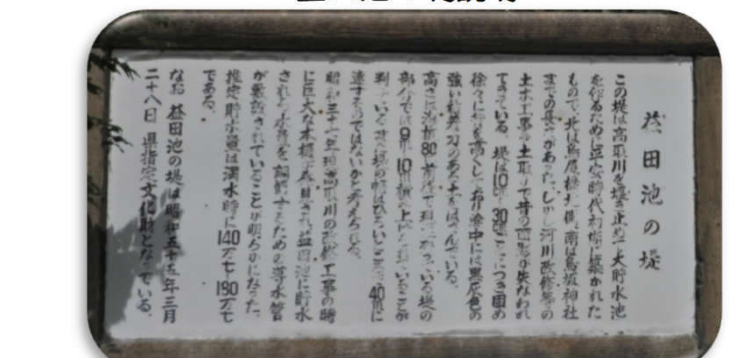
ナツメ



益田池の堤説明



益田池の堤説明



益田池の堤説明



益田池の堤説明



宣化天皇陵へ向かう途中の花(キョウチクトウ) 毒



宣化天皇陵へ向かう



宣化天皇陵へ向かう

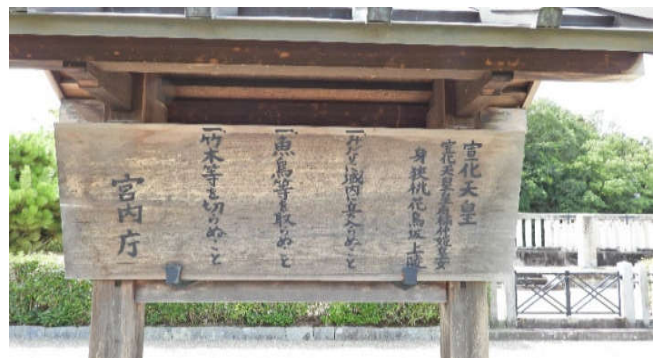


池の中に碑 (宣化天皇身狭桃花鳥坂上陵)



宣化天皇陵へ向かう

宣化天皇身狭桃花鳥坂上陵は、奈良県橿原市鳥屋町に位置する古墳で、第28代宣化天皇とその皇后橘仲皇女の合葬陵とされています。この古墳は、前方後円墳の形状をしており、奈良盆地南縁の貝吹山北麓の尾根先端部に築造されました。古墳の外観には、葺石や埴輪が検出されており、周囲には盾形の周濠が巡らされています。埋葬施設や副葬品は明らかでないものの、古墳は古墳時代後期前半の6世紀前半頃に築造されたと推定されています。宣化天皇は継体天皇の第二皇子であり、新羅が百済と任那を攻めた際に大伴狭手彦を防衛に派遣したと『日本書紀』に記されています。



宣化天皇陵



宣化天皇陵



宣化天皇陵(宣化天皇身狭桃花鳥坂上陵)



道中の花



宣化天皇陵



キノコ



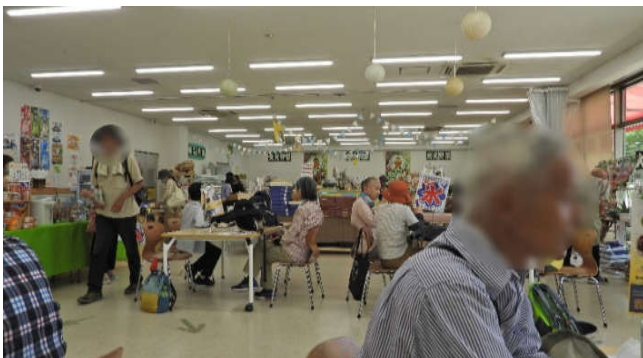
新沢千塚古墳群公園へ向かう途中の寺



新沢千塚古墳群公園



農産物直売所、休憩所



休憩所で昼食



龍の広場



龍の広場



榎原市博物館



榎原市博物館見学



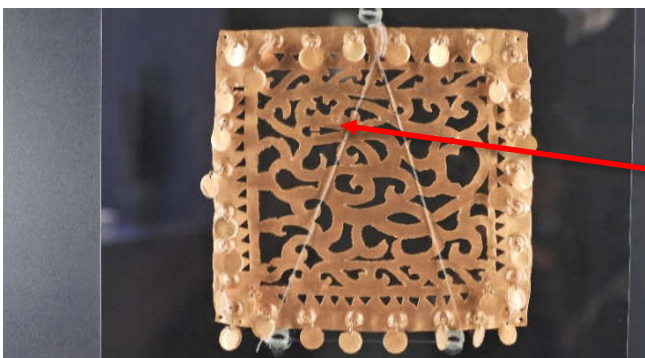
榎原市博物館内展示物



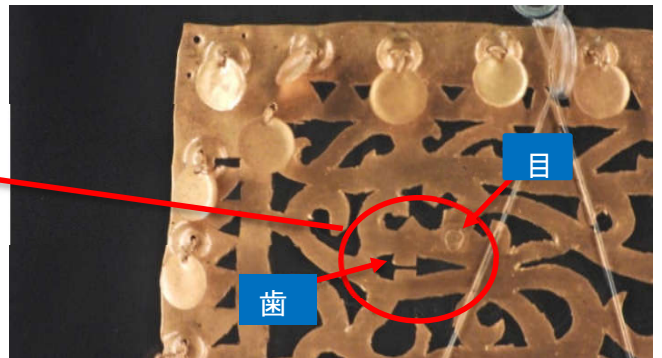
榎原市博物館内展示物



榎原市博物館内展示物



榎原市博物館内展示物（龍文透彫方形板）



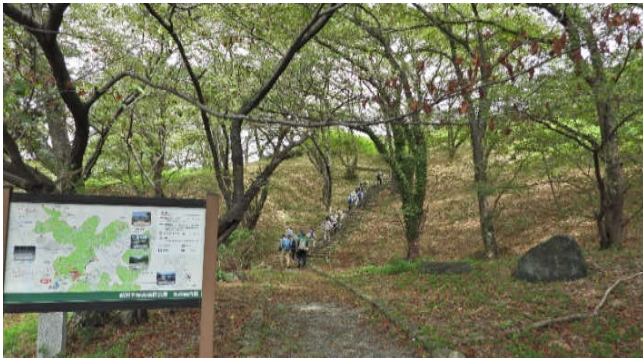
龍の顔（歯と目）



榎原市博物館内展示物



榎原市博物館内展示物



新沢千塚古墳を歩く



173号古墳



新沢千塚古墳を歩く



109号古墳



新沢千塚古墳を歩く



126号古墳



稲見様説明



畝傍山



139号古墳



81号古墳



駅方面へ向かう



サークル長の挨拶後解散



解散

